

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



成年男子B スペシャルジャンプ 優勝
高橋大斗〔株式会社土屋ホーム〕



成年男子B コンバインド 優勝
湊 祐介〔東京美装興業株式会社〕



成年男子C ジャイアントスラローム 優勝
生田康宏〔東京美装興業株式会社鹿角事業所〕



女子リレー 優勝
左から 藤田菜々瀬〔秋田北鷹高校〕・木村 希〔花輪高校〕
田中きらり〔花輪高校〕・石垣寿美子〔秋田ゼロックス株式会社〕

〔写真提供：秋田魁新報社〕

contents

- ◎2015ぐんま冬国体グラビア 2
- ◎第70回国民体育大会冬季大会競技結果 3
- ◎第70回国民体育大会冬季大会入賞者インタビュー 4
- ◎中村和雄ゼネラルアドバイザーに聞く 6
- ◎平成26年度秋田県スポーツ賞受賞者 7
- ◎平成26年度全国高等学校総合体育大会成績(スキー) 10
- ◎全国高等学校スキー大会入賞者インタビュー 11
- ◎平成26年度東北・全国中学校体育大会(冬季大会)
秋田県選手上位成績一覧 12

- ◎全国中学校スキー大会入賞者インタビュー 13
- ◎強化拠点校紹介
秋田県立雄物川高等学校 男子バレーボール部 14
- ◎平成26年度秋田県中学生強化選手競技力向上研修 16
- ◎全国高等学校駅伝競走大会 18
- ◎平成26年度スポーツ秋田この一年 19
- ◎賛助会員 20
- ◎「スポーツ立県あきた」応援広告 21
- ◎県体協事務局だより・編集後記 22



本県選手団結団式 ファイトコール



開始式 本県選手団の旗手
高畑政弘〔鹿角広域行政組合消防本部〕



成年男子B
スペシャルジャンプ 優勝
高橋大斗〔榎土屋ホーム〕



少年女子
5 km クラシカル 2位
藤田菜々瀬〔秋田北鷹高校〕



成年男子B ジャイアントスラローム 5位
高橋将也〔東由利スキークラブ〕



成年男子B コンバインド 優勝
湊 祐介〔東京美装興業(株)〕



成年男子C ジャイアントスラローム 優勝
生田康宏〔東京美装興業(株)鹿角事業所〕



成年女子B ジャイアントスラローム 2位
金子未里〔秋田いすゞ自動車(株)〕



成年男子リレー 3位 3走・大川から4走・湊につなぐ



表彰式 男女総合成績 4位・女子総合成績 2位
佐藤健一郎〔本県選手団団長〕、佐藤有一〔本県選手団副団長〕

(写真提供：秋田魁新報社)



第70回国民体育大会冬季大会競技結果

【スピードスケート競技】 平成27年1月28日(水)～2月1日(日)

群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク

【スキー競技】 平成27年2月20日(金)～2月23日(月)

ジャイアントスラローム(四季の森ホワイトワールド尾瀬岩鞍) クロスカントリー(尾瀬ほか高原スポーツパーククロスカントリーコース) ジャンプ(片品シャンツェ)

順位	得点	種別	種目	氏名	所属
1	8	女子	リレー	藤田 菜々瀬	秋田北鷹高校2年
				木村 希	花輪高校2年
				田中 きらり	花輪高校3年
				石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)
	8	成年男子B	スペシャルジャンプ	高橋 大斗	(株)土屋ホーム
	8	成年男子B	コンバインド	湊 祐介	東京美装興業(株)
2	7	少年女子	5kmクラシカル	藤田 菜々瀬	秋田北鷹高校2年
				小山内 佳彦	東京美装興業(株)鹿角事業所
				金子 未里	秋田いすゞ自動車(株)
3	6	成年男子	リレー	板橋 達基	日本大学4年
				児玉 宗史	東海大学2年
				大川 翔平	東京農業大学4年
				湊 祐介	東京美装興業(株)
	6	成年男子A	10kmクラシカル	児玉 宗史	東海大学2年
6	成年女子B	5kmクラシカル	石垣 寿美子	秋田ゼロックス(株)	
4	5	少年男子	リレー	畑澤 壱希	花輪高校2年
				木村 壮志	秋田北鷹高校3年
				長谷川 海斗	秋田北鷹高校2年
				高橋 幸希	秋田北鷹高校3年
	6	成年男子A	スペシャルジャンプ	馬淵 源	旭川大学4年
5	4	少年男子	コンバインド	佐藤 亜紗美	日本大学4年
				木村 吉大	花輪高校1年
				馬淵 点	北海道ハイテクSC
				高橋 大斗	(株)土屋ホーム
6	3	少年男子	10kmクラシカル	高橋 将也	東由利スキークラブ
				木村 壮志	秋田北鷹高校3年
7	0	成年男子B	スペシャルジャンプ	成田 巨樹	小坂製錬(株)
	2	少年男子	10kmクラシカル	畑澤 壱希	花輪高校2年
	3	少年女子	ジャイアントスラローム	齊藤 実祐	角館高校1年
	0	成年男子B	コンバインド	月居 克夫	小坂高校教
	2	成年女子B	5kmクラシカル	大森 菜保子	比内養護学校かづの分校教
	2	成年男子C	10kmクラシカル	須藤 薫	秋田自衛隊
8	2	少年男子	コンバインド	宮崎 翔太	花輪高校3年
12	2	少年男子	スペシャルジャンプ	湯瀬 瞬	小坂高校1年

競技得点ルールによる点数変更 入賞数 25 合計 120 (38.0) 点 () は皇后杯得点 ※8位入賞

■第70回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 29位 20.0点 [10点(スケート参加得点)+10点(アイスホッケー参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 22位 10.0点 [10点(スケート参加得点)]

■第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 4位 130.0点 [120.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 2位 48.0点 [38.0点(競技得点)+10点(参加得点)]

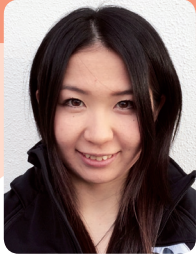
■第70回国民体育大会冬季大会 総合成績

男女総合成績(天皇杯)・得点 6位 150.0点 [120.0点(競技得点)+30点(参加得点)]

女子総合成績(皇后杯)・得点 11位 58.0点 [38.0点(競技得点)+20点(参加得点)]



第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会 入賞者インタビュー



金子 未里

成年女子B ジャイアントスラローム 2位

- ◆所属先 秋田いすゞ自動車株式会社
- ◆出身 四ツ屋小学校-大曲中学校-角館高校-立命館大学

Q1. 今大会にはどのような気持ち（心構え）で臨んだのかを聞かせてください。

国体は秋田県の皆さんへの感謝を伝える一番の大会です。特に今年度は前人未踏の女子総合6連覇がかかっていました。何としてでも秋田へ貢献し、『史上初』を県民の皆さんへ届けたいと思い挑みました。今までは様々な大会へ出場しながら国体にも出場させていただいていましたが、昨シーズンで現役を引退し、今シーズンはこの国体のためにトレーニングを行ってきました。一年に一度のビッグイベントにとっても緊張しましたが、秋田県選手団のサポート、県民の皆さんの応援がとても力になりました。

Q2. 今大会の結果について感想と勝因を聞かせてください。

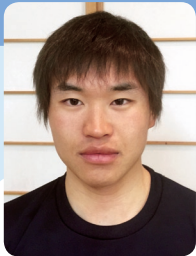
個人成績としては2位と、100点満点とまではいきませんでしたが、国内トップで活躍する現役選手が多数参戦する中でこの結果には満足していると同時に、ホッとしています。今年からコーチとしての活動も行っていた中で、子どもたちにスキーの技術を伝えることで自分の技術もシンプルに見つめ直すことができました。理解したことで技術を深めることができたのではないかと感じています。しかし、あと少しの差で女子総合6連覇を逃してしまいました。悔しい気持ちもありますが選手一丸となってそれぞれが全力で戦えたことは素晴らしいことですし、その環境をサポートくださった方々には心から感謝いたします。

Q3. これまでの自身の経験を踏まえ、スキー（アルペン）の競技力向上に必要なと思うことをいくつか教えてください。

アルペンスキーに限らず、選手として成長していく上で大切なのは「当たり前前を当たり前にする」ということだと思います。技術は基本の上に成り立ちます。技術の幅を広げるには基本の幅を広げなければいけません。あいさつをする、時間を守るといった生活面も含まれます。自分にとっての基本を増やすこと、基本も質を高めることが重要と考えます。自分で考え、ペースを築き、人としても成長することで練習の意味を理解し、より技術を深められるのではないかと考えます。

Q4. 全国や世界で活躍できる選手を目指している本県のスキー（アルペン）競技者に対してアドバイスをお願いします。

自然の中で、自分の力でここまでスピードを出せる競技というのは他にはありません。雪を、自然を楽しんでください。そして、夏場の練習、例えば走ったりジャンプしたり回ったり、そういったこともすべてかっこ良くやりましょう！上手な選手は何をしてもかっこ良くできます。かっこ良い選手になってください。スキーは『速く！楽しく！かっこ良く!!』また、「やりたい!」と思ったことはやってみる。やったことは最後までやりきる！みんなで秋田のスキーを盛り上げましょう。私も応援しています！



児玉 宗史

成年男子A 10kmクラシカル 3位

- ◆所属先 東海大学2年
- ◆出身 花輪北小学校-花輪第二中学校-十和田高校

Q1. 今大会にはどのような気持ち（心構え）で臨んだのかを聞かせてください。

成年で出場する国体は初めてだったので、まずはレースを楽しみたいという気持ちがありました。特に自分の今の実力がどこまで通用するのかを試すことができる機会だったため、ベストな走りができたらと思いました。また、1点でも多くの点数を取り、秋田県に貢献したいという気持ちで今大会に臨みました。特に個人での入賞よりも、成年男子リレーでの上位進出に貢献するという気持ちが強かったです。

Q2. 今大会の結果について感想と勝因を聞かせてください。

今大会の結果には自分でも驚いています。普段のレースでは20番台、良くて10番台といったレースが多かったので、入賞したいという気持ちもあったが、15位以内に入れば自分の中では上出来かなと考えていました。しかし、結果が出ると自分の予想よりはるかに上回り、まさか表彰台に立てるとは思ってもいなかったです。今回の勝因はワックスマンの皆さん、自分を後押ししてくれた方々のおかげであると思います。他の選手がワックスのミスで苦しいレースの中、自分はワックスのミスもなく、レースを行うことができました。朝早くから会場に入ってテストを行い、ベストなワックスを選択してスキーを仕上げただいたスタッフの皆さんにとっても感謝しています。また、コースは標高が高い上に、ハードなコース設計だったので肉体的にも精神的にも辛かったですが、コースのいたるところで応援してくれた方々や、スタッフがいてくれたので踏ん張ることができました。本当に感謝しています。

Q3. 競技力向上のために力を入れて取り組んでいる練習方法を教えてください。

自分は他の選手よりも小柄なので、それを補うために、特にウエイトトレーニングで筋力アップを図っています。ただやみくもに行うのではなく、クロスカントリースキーではどこの筋肉を使っているのかを考えたり、動作を意識した動きを取り入れて行っています。また、持久的な競技でもあるため、夏場はローラースキーでスキーに近い動きをするトレーニングやランニング、トレイルランなどで長い距離や時間を走ったり、マラソン大会やローラースキー大会等にも参加してレース感覚を養っています。

Q4. 競技者として日ごろから意識して取り組んでいることを教えてください。

日ごろから意識していることは、体のケアと体調管理を徹底していることです。トレーニング後のストレッチやアイシング等をこまめに行い、翌日に疲労をなるべく残さないようにしています。特に夏場のハードなトレーニングの時やシーズン中の連戦の際はより意識しています。また、大学のコーチから筋肉が張っている部分や疲労しやすい部分をアドバイスしていただき、その部分を重点的にケアするように努めています。合宿が長期に渡ったり、ハードなトレーニングを行うと体調が崩れやすくなるので、手洗いうがいなど当たり前前を行ったり、また、食事でも偏食等せずしっかり食べています。



高橋 将也

成年男子B ジャイアントスラローム 5位

- ◆所属先 東由利スキークラブ
- ◆出身 八塩小学校-東由利中学校-鷹巣農林高校-専修大学

Q1. 今大会にはどのような気持ち（心構え）で臨んだのかを聞かせてください。

アルペン競技はスタートの順番がパフォーマンスに大きく影響します。国体は前年の順位によって翌年のスタート順が決まるため、最高の先輩が今回の国体での私のスタート順を用意してくれていました。また、大会当日も最高に頼もしい後輩たちが最高の雰囲気を作ってくれると信じていましたので、自分の競技に100%集中して競技に臨むことができました。

Q2. 今大会の結果について感想と勝因を聞かせてください。

入賞することはできましたが、決して満足のいくパフォーマンスではありませんでした。競技の前日にサービスマンと念入りにワックスをスキーに塗って準備したため、競技当日はスキーの滑走性がとても良好で、そのことが入賞につながったのだと思います。

Q3. これまでの国体出場回数と選手として出場する国体に対する思いを教えてください。

今回で5回目の国体出場となります。現在は地元のチルドレン世代を指導しています。コーチ兼選手として自分のパフォーマンスで“チームの目指していること・トレーニング方針は全国に通用するものだ”と、子どもたちに身近なところで示すことができた良いと思国体に出場しています。

Q4. トレーニング時間の確保やトレーニング方法の工夫について教えてください。

自分のトレーニングを特別に確保することはしていません。子どもたちにスキーを指導するために、毎日のようにスキーを履いて雪上に立ち指導することによって、常日ごろからスキーを意識するようにしています。



成田 巨樹

成年男子B スペシャルジャンプ 6位

- ◆所属先 DOWAスキークラブ（小坂製錬㈱）
- ◆出身 小坂小学校-小坂中学校-小坂高校-日本大学

Q1. 今大会にはどのような気持ち（心構え）で臨んだのかを聞かせてください。

昨年の国体では、秋田県からスペシャルジャンプ成年Bに3名出場して2名が表彰台に上がったが、自分は調整不足で入賞すらできなかったのが、今年の国体では3名全員で表彰台に上がりたいという気持ちで臨みました。

Q2. 今大会の結果について感想と勝因を聞かせてください。

今年の国体も自分だけ表彰台に上がれず悔しいですが、表彰式には全員そろって出られたので最低限の目標は果たせました。しかし、当日ジャンプ台のランディングバーンの状況確認不足や気温上昇を予想していたにも関わらずトップワックスを塗らず他選手よりスピードが出なかったこと、やらなくてはいけなかったことをやっていた初歩的なミスをしてしまったことが敗因でもあり、もしかしたらそれが勝因だったのかもしれない。

Q3. これまでの国体出場回数と選手として国体に出場し続けている思いやモチベーションを教えてください。

国体出場回数は今回で21回になります。選手として続ける理由はジャンプが好きということが一番です。大会の緊張感も好きだし、成年Bで競っている仲間と来年もここで会おうと毎年約束していることが国体に出場し続けるモチベーションにつながっていると思います。そして、連続出場回数と入賞回数を伸ばし国体レジェンドを目指しています。

Q4. スキー（スペシャルジャンプ）競技をしている本県のジュニア選手に対してアドバイスをお願いします。

ジャンプは楽しい競技ということを肌で感じてほしい、例えば花輪でジャンプの練習をするときスロープカーに社会人から小学生まで一緒に乗り会話をするとか同じジャンプ台でスタート待ちをするときも年齢に関係なく同じ立場で同じ場所にいること、そこでいろいろな会話ができ吸収できること、他の競技ではほとんどない光景がそこにはあります。そして、ミニスキーやゲレンデで遊んでやったジャンプがそのまま競技につながっていること、楽しい気持ちを忘れずに誰よりも遠くへ飛びたい気持ちを持ち続けてほしいです。



中村和雄ゼネラルアドバイザーに秋田県のスポーツについて聞きました。

『日本一は本当に楽しい』

みんなにあの現場を体験してほしい



中村和雄

(公財)秋田県体育協会ゼネラルアドバイザー (以下：G A)

平成26年10月に就任して、精力的に各競技団体の試合や練習会場に訪れ、激励を行っています。

Q：激励や視察に県内を奔走されていますが、各競技団体の現場を見ていかがですか？

私の知っているスポーツにおける秋田県のイメージとは、ラグビー、バスケット、サッカー、野球など強い競技だった。しかし4年前から秋田にきて、あまりに弱くなってショックを覚えた。

私が激励に行くとき最初はお互いに身構えていたが、最近では距離が近くなった。全国で活躍し頑張ってもらえるように応援したい。他の競技を見ると違った視点から参考となり新鮮で自分自身が勉強になる。もっと早く違う競技を見る機会があったらいろんな場面で活用できたかもしれない。私自身もそうであったが、指導者が泥をかぶった分だけチームは強くなる。

試合の現場や、練習を激励に回ってみて思ったのは指導者がマナーしている。練習は緊張感がなく選手は人前で話せないし、元気や明るさもない。こういう雰囲気だと魅力を感じない。指導者が選手と一緒に死力を出して盛り上げるべきだ。緊張感のあるチームもあるが、多くのチームは選手に元気がない。選手との対話やミーティングを大切にすれば、指導者の心も選手の気持ちも通じ合い魅力のあるチームになるはず。

強豪校と言われる伝統のあるチームは負けが許されない環境であるが、その事をいいプレッシャーとして捉えてほしい。施設や環境等は素晴らしくサポートしてもらっている。能代工業高校のバスケット、秋田工業高校のラグビー、雄物川高校のバレーなど頑張ってもらいたい。

今は、この練習をすれば必ず勝てるというものが無いからこそ、経験や情報を大切に指導者と選手の中で独自の発想を作り出してほしい。**チームの中で一つでも自信を持って日本一と言えるものがあるのか？そこを中心に自信を持って進んでほしい。**そんな中で、素晴らしい指導者やチームも沢山ある。秋田工業陸上部と大友監督は緊張感があり生徒の練習に取り組む姿勢が良い。すごく良い。**是非、違う競技であっても優秀なチームを見て学び、刺激を受けてほしい。**こんな魅力があるチーム、日の丸を背負えるチームがあれば秋田で頑張りたいという選手が増えてくる。

ほかにも頑張っているチームや指導者がいる。秋田商業高校のレスリング部や卓球部、秋田南高校の剣道部、金足農業高校の相撲部やウエイトリフティング部、聖霊高校のフェンシング部、秋田北高校の新体操等々すばらしい。先日のぐんま冬国体の活躍は本当に感動した。スキー連盟は一致団結して全員が勝つために戦っていた。みんなの活動を沢山の人の見てもらいたい。『**スポーツは見る人がいてくれるから頑張れる。**』メディアにも取り上げてもらって応援してもらいたい。沢山の応援が選手達の頑張りにつながるはず。

Q：これから更にやってみたいことはありますか？

これからは、スポーツで秋田を元気にしたい、秋田県はスポーツ立県して県が力を入れて頑張っている。こんな県はなかなかない。少し頑張れば全国で活躍できそうな環境がある。私はバスケ以外は素人だが、素人に言われてドキッとすることがある。もっといろんな競技や環境に足を運んで素人の目で指導者や選手を激励していきたい。

指導者、選手、関係者には死ぬ気になってやってほしい。そして日本一をつかみ取ってほしい。『**日本一は本当に楽しい**』是非みんなにその思いをして欲しい。これからはG Aとしてチーム秋田の応援団長のように激励して歩きたい。



第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会
女子リレーチームを激励する中村和雄ゼネラルアドバイザー



平成26年度秋田県スポーツ賞受賞者

◆ 功 勞 賞 ◆



大久保 正 樹
秋田県軟式野球連盟副会長兼理事長



神 部 敏 夫
秋田県弓道連盟顧問



佐々木 義 宗
前秋田県山岳連盟会長



佐藤 和 夫
秋田県クレール射撃協会副会長



長門 靖 彦
秋田県レスリング協会副会長

◆ 功 勞 賞 ◆



中野 明 子
秋田県体操協会副会長



保坂 直 廣
秋田県水泳連盟副会長



向島 偕
秋田県体育協会スポーツ医・科学委員
秋田県アーチェリー協会会長



久住 友 勝
鹿角市相撲連盟相談役
秋田県相撲連盟相談役



柴田 恵 吉
横手市ソフトテニス連盟顧問
秋田県ソフトテニス連盟副会長

◆ 栄 誉 賞 ◆

◆ 生涯スポーツ賞 ◆ 【個人】



浦壁 正 樹
由利本荘市



相馬 勝 子
大館市



福田 誠
サッカー

国際奨励賞

柳岡 はるか
松橋 亜希
馬淵 源

フェンシング
スキ
スキ

法政大学2年
東海大学4年
旭川大学4年

優秀指導者賞

藤井 亨

自転車競技

大曲農業高校



栄光賞 【個人の部】

小林 快	陸上競技	早稲田大学 4年
湊谷 春紀	陸上競技	秋田工業高校 3年
安保 建吾	陸上競技	東海大学 3年
續木 悠也	陸上競技	秋田工業高校 3年
小林 明日香	水泳	筑波大学 4年
豊澤 鉄平	体操競技	山王中学校 3年
菊地 憲	レスリング	セコム株式会社
栗森 幸次郎	レスリング	三恵海運(株)
多胡島 伸佳	レスリング	早稲田大学 2年
櫻庭 功大	レスリング	秋田商業高校 3年
菅原 幹太	レスリング	秋田商業高校 2年
越後 智裕	レスリング	国士舘大学 4年
米澤 圭	レスリング	秋田商業高校 3年
伊藤 拓実	レスリング	天王南中学校 3年
大坂 昂	レスリング	三菱電機
佐藤 亮哉	ウエイトリフティング	名古屋産業大学 4年
佐藤 慎太郎	柔道	桐蔭横浜大学 4年
佐藤 果	柔道	横手南中学校 3年

佐々木 光彦	弓道	由利本荘市教育委員会
高橋 駿平	ライフル射撃	秋田中央高校 3年
佐々木 優	カヌー	食彩げんべい
伊藤 永太	パワーリフティング	筋トレ怪力塾
宮崎 敬太	スキー	尾去沢中学校 3年
木村 幸大	スキー	花輪第二中学校 1年
土濃塚 悠成	スキー	合川中学校 3年
成田 生絵	スキー	十和田高校 1年
成田 沙弥佳	スキー	十和田高校 3年
高橋 大斗	スキー	(株)土屋ホーム
小山内 佳彦	スキー	東京美装興業(株)鹿角事業所
藤田 菜々瀬	スキー	秋田北鷹高校 2年
児玉 宗史	スキー	東海大学 2年
石垣 寿美子	スキー	秋田ゼロックス(株)
生田 康宏	スキー	東京美装興業(株)鹿角事業所
金子 未里	スキー	秋田いすゞ自動車(株)
湊 祐介	スキー	東京美装興業(株)

栄光賞 【団体の部】

- 第69回国民体育大会バスケットボール競技
- 第69回国民体育大会フェンシング競技
- 第69回国民体育大会相撲競技
- 第69回国民体育大会クレ射撃競技 トラップ種目
- 第69回国民体育大会相撲競技 総合
- 全国高等学校総合体育大会第62回全日本高等学校選手権競漕大会 女子舵手付きクォドルプル
- 平成26年度全国中学校体育大会第52回全国中学校スキー大会 クロスカントリー女子リレー 3km×4
- 全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー女子 3×5kmリレー
- 全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校スキー大会 クロスカントリー女子 3×5kmリレー
- 全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校スキー大会 学校対抗女子
- 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会 クロスカントリー女子リレー 5km×4
- 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会 クロスカントリー成年男子リレー 10km×4
- 第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会 女子総合

- 成年女子秋田県チーム
- 成年女子フルーレ秋田県チーム
- 成年男子秋田県チーム
- 成年男子秋田選抜チーム
- 秋田県チーム
- 本荘高校端艇部
- 秋田県女子リレーチーム
- 秋田北鷹高校女子リレーチーム
- 花輪高校女子リレーチーム
- 十和田高校女子チーム
- 秋田県女子リレーチーム
- 秋田県成年男子リレーチーム
- 秋田県女子チーム

奨励賞 【個人の部】

近藤 未空	陸上競技	追分小学校 6年
越後 瀬那	陸上競技	能代第四小学校 6年
小西 海斗	陸上競技	川連小学校 6年
宮崎 海乃	水泳	秋田東中学校 2年
保坂 典樹	レスリング	寺内小学校 5年
塚田 京	レスリング	明德小学校 6年
福田 麗優	ソフトテニス	大曲中学校 3年
松 真平	フェンシング	外旭川中学校 3年
成田 実礼	フェンシング	大住小学校 6年
石川 玲愛	相撲	野石小学校 5年
板本 優大	柔道	平沢小学校 6年
土田 優成	カヌー	鶴舞小学校 6年
北嶋 咲良	カヌー	尾崎小学校 4年
村上 聖太郎	カヌー	新山小学校 4年

平成26年度受賞者数一覧

賞	個人	団体
功 労 賞	8名	
栄 誉 賞	2名	
生涯スポーツ賞	3名	
国際奨励賞	3名	
優秀指導者賞	1名	
栄 光 賞	35名	13団体 延べ82名
奨 励 賞	14名	
合 計	66名	13団体 延べ82名



平成26年度

人見スポーツ賞受賞者

『成績だけでなく、当該年度に、スポーツのよさ、美しさ等を発揮して県民に深い感動を与え、強く心をひきつけたもの』

○個人の部

米澤 圭 (レスリング・秋田商業高校)

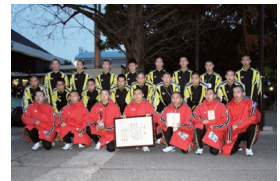
- 平成26年度全国高等学校総合体育大会
レスリング競技60kg級 1位



○団体の部

秋田工業高校 駅伝チーム (陸上競技)

- 第65回全国高等学校駅伝競走大会 男子 4位



畠沢国体賞受賞者

『国民体育大会において優秀な成績を収め、本県スポーツの振興に著しく貢献したもの』

○個人の部

櫻庭 功大 (レスリング・秋田商業高校)

- 第69回国民体育大会 レスリング競技
少年男子グレコローマンスタイル74kg級 1位



○団体の部

第69回国民体育大会 秋田県成年女子バスケットボールチーム

- 第69回国民体育大会 バスケットボール競技 成年女子 1位



辻ジュニアスポーツ大賞受賞者

『技量優秀で、将来性が認められるもの』

○個人の部

宮崎 敬太 (スキー・尾去沢中学校)

- 平成26年度全国中学校体育大会第52回全国中学校スキー大会
ノルディックコンバインド 1位





平成26年度 全国高等学校総合体育大会成績(スキー)

順位	種 目	選 手 ・ 学 校
2位	女子5kmフリー	成田 生絵 (十和田①)
	女子リレー	秋田北鷹 藤田菜々瀬② 佐藤 葵② 土濃塚世奈②
3位	女子5kmフリー	成田沙弥佳 (十和田③)
	女子リレー	花 輪 本田 優希② 木村 希② 田中きらり③
	女子学校対抗	十和田 成田沙弥佳③ 澤田 美都② 千葉 幹乃② 成田 生絵① 田原 朱莉①
4位	男子ジャイアントスラローム	日高 大樹 (角 館②)
	男子10kmフリー	木村 壮志 (秋田北鷹③)
	女子リレー	十和田 澤田 美都② 成田 生絵① 成田沙弥佳③
5位	女子5kmフリー	田中きらり (花 輪③)
6位	女子5kmフリー	藤田菜々瀬 (秋田北鷹②)
	男子スラローム	小嶋 貫太 (角 館③)
8位	男子スペシャルジャンプ	小山内鴻佑 (花 輪③)
9位	男子10kmクラシカル	畑澤 吉希 (花 輪②)
	女子5kmクラシカル	藤田菜々瀬 (秋田北鷹②)
	女子スラローム	川合麻梨紗 (角 館③)
10位	女子5kmフリー	木村 希 (花 輪②)
	女子スラローム	齊藤 実祐 (角 館①)
	男子リレー	秋田北鷹 高橋 幸希③ 長谷川海斗② 木村 壮志③ 加藤 豪③

※○は学年



開会式 選手代表宣誓
田中きらり (花輪高校3年)



女子5kmフリー 2位
成田 生絵 (十和田高校1年)



女子5kmフリー 3位
成田沙弥佳 (十和田高校3年)



男子10kmフリー 4位
木村 壮志 (秋田北鷹高校3年)



男子ジャイアントスラローム 4位
日高 大樹 (角館高校2年)



全国高等学校スキー大会入賞者インタビュー

秋田北鷹高校 女子リレー 2位



1 走
藤田菜々瀬

◇出身 合川東小学校
合川中学校



2 走
佐藤 葵

◇出身 阿仁合小学校
阿仁中学校



3 走
土濃塚世奈

◇出身 合川南小学校
合川中学校

Q1. 地元インターハイでのチーム目標と目標達成に向けて取り組んできたことを教えてください。

地元インターハイでは、リレー優勝を目標にパワースキーを目指して、昨シーズンよりもウエイトトレーニングに力を入れて取り組んできました。また、定期的にスピードトレーニングも行い、自分自身を追い込み、苦しいトレーニングも仲間とともに乗り越えてきました。

Q2. 女子リレー2位の勝因を教えてください。

全県総体のリレーでは花輪高校に負けてしまいましたが、自分たちの力を信じて強い気持ちでインターハイを迎えることができました。一人ひとりが目標達成に向かって、少しでもタイム差を縮めようとチーム全員の心を一つに集中してレースに臨むことができたからだと思います。また、監督やコーチをはじめ、ワックスマン、トレーナーの方々のサポートがあったからこそこの2位です。本当に感謝しています。

Q3. 競技力向上のためにチームとして日ごろから心がけていることを教えてください。

あいさつや礼儀、チームの雰囲気づくりを大切にしています。たくさんの方々の支えがあってこそスキーができていますので、常に感謝の気持ちを忘れずに、その気持ちを声に出してしっかりと伝えるようにしています。また、スポーツ栄養士のアドバイスを受け、食事にも気を配りながら練習や大会に臨んでいます。

Q4. 今後のチームの課題を教えてください。

これまでパワーとスピードをテーマにして取り組んできましたが、他のチームと比べるとまだまだ不足していると思いました。今シーズンのレースを通しての反省をこれからのトレーニングに生かし、さらにウエイトトレーニングとスピードトレーニングに励み、お互いに高め合いながら日本一を目指してがんばってまいります。



左から 藤田、佐藤、土濃塚



1走・藤田から2走・佐藤につなぐ
〔写真提供：秋田魁新報社〕



平成26年度 東北中学校体育大会(冬季大会) 秋田県選手上位成績一覧

競技名	性別	学校名・氏名・学年	種目	成績
【駅伝】 平成26年11月7日(金)～8日(土) 岩手県花巻市 日居城野運動公園陸上競技場	女	鷹巣 萩野 真紀② 中嶋 夏奈② 工藤 千翔② 萩野さくら① 土田 楓子②		1位 44'04"
【スキー】 平成27年1月23日(金)～25日(日) 岩手県八幡平市 ○クロスカントリー 田山クロスカントリーコース ○アルペン 安比高原スキー場カッコウコース ○ジャンプ 矢神飛躍台 ○コンバインドクロスカントリー 田山クロスカントリーコース	男	合川 土濃塚悠成③ 木村賢太郎②	5kmフリー	1位 6位
	女	花輪二 望月 咲良③	3kmフリー	2位
		花輪一 田中 星那②		3位
		花輪二 児玉 滯香③		4位
	男	合川 土濃塚悠成③	5kmクラシカル	1位
		花輪二 菅堤野大将③		7位
		合川 高橋 和希③		8位
	女	花輪一 田中 星那②	3kmクラシカル	3位
		花輪二 児玉 滯香③		4位
		花輪二 望月 咲良③		8位
	男	合川 安部 優雅① 土濃塚悠成③ 高橋 和希③ 木村賢太郎②	4×5kmリレー	4位
	女	花輪二 児玉 滯香③ 朝霧 育美③ 望月 咲良③	3×3kmリレー	1位
森吉 平川 優花③ 田崎 愛③ 山田 雅子③		4位		
男	本荘南 杉田 海③	ジャイアントスラローム	6位	
女	美郷 山田 拓郎②	ジャイアントスラローム	7位	
女	東成瀬 高橋 夢香②	ジャイアントスラローム	1位	
男	尾去沢 宮崎 敬太③	スペシャルジャンプ	1位	
	花輪二 木村 幸大①		3位	
	十和田 湯瀬 晃成②		4位	
	花輪二 小舘 冬歩②		5位	
男	尾去沢 宮崎 敬太③	コンバインド	1位	
	花輪二 木村 幸大①		2位	
	十和田 湯瀬 晃成②		4位	
花輪二 小舘 冬歩②	6位			
【スケート】 平成26年12月20日(土)～22日(月) 青森県八戸市 ○スピードスケート 八戸市長根公園パイピングスケートリンク	女	秋田東 高橋 海音②	500m	3位
			1000m	3位
【スケート】 平成26年11月15日(土)～16日(日) 青森県八戸市 ○フィギュア テクノルアイスパーク八戸	女	天王 京谷和佳奈①	Bクラス	3位

入賞（駅伝6位、スキー個人8位・リレー6位、スケート6位）以内

平成26年度 全国中学校体育大会(冬季大会) 秋田県選手上位成績一覧

競技名	性別	学校名・名前・学年	種目	成績
【スキー】 平成27年2月5日(木)～8日(日) 青森県南津軽郡大鰐町 ○クロスカントリー 青森あじらクロスカントリーコース ○アルペン 雨池チャンピオンコース	男	合川 土濃塚悠成③	5kmクラシカル	2位
	女	花輪二 児玉 滯香③	3kmクラシカル	6位
		花輪一 田中 星那②		8位
	男	合川 土濃塚悠成③	5kmフリー	5位
	男	秋田選抜 合川 高橋 和希③ 合川 土濃塚悠成③	4×5kmリレー	9位
		合川 木村賢太郎② 鷹巣南 佐藤 東③		
女	秋田選抜 花輪二 児玉 滯香③ 花輪一 田中 星那②	4×3kmリレー	3位	
藤里 加藤 萌③ 花輪二 望月 咲良③				
【スキー】 平成27年2月2日(月)～4日(水) 秋田県鹿角市 ○ジャンプ 花輪スキー場花輪シャンツェ ○コンバインドクロスカントリー 花輪スキー場クロスカントリーコース	女	花輪一 渡辺 桃花③	スラローム	4位
	男	尾去沢 宮崎 敬太③	スペシャルジャンプ	5位
		花輪二 木村 幸大①		10位
	男	尾去沢 宮崎 敬太③	コンバインド	1位
花輪二 木村 幸大①		3位		
十和田 湯瀬 晃成②	4位			

入賞（スキー10位）以内



全国中学校スキー大会入賞者インタビュー

コンバインド 優勝 スペシャルジャンプ 5位



尾去沢中学校3年 宮崎 敬太 (尾去沢小学校出身)

Q1. 地元で全国大会を迎えるにあたって意識したことを教えてください。

中学校1年生から全国のトップ選手と戦えるチャンスに恵まれ、常に「日本一」になることを目標にしてきました。トップ選手のジャンプ、走力を研究し、自分に何が足りないのかコーチのアドバイスを聞き、一つ一つの大会を全国大会だと思いながら勝負してきました。「自分はある」、「いつも通りの練習をすれば必ず結果はついてくる」と信じて、頭の中でよいイメージを描くことも意識しました。

Q2. 地元での全国大会で優勝した感想を教えてください。

中学校最後のシーズンに優勝できて最高に嬉しかったです。地元ということで、「勝たなければいけない」という気持ちが強く、今までにない緊張とプレッシャーがありました。その中で結果を出せたのは、指導して下さったコーチの方々、そして学校の先生方、クラスみんなの応援があったからだと思います。

Q3. 今大会の勝因を教えてください。

中学校1年生時から目標を設定し、目標に向かってトレーニングしてきた結果が今大会につながったのだと思います。そして、地元開催ということもあり、今までにない声援があったからです。苦しいときも周りの声援があったから最後まであきらめず戦えました。

Q4. 競技力向上のために日頃から心がけていることを教えてください。

バランスのよい食事をとることと、疲れを残さないようにしっかり睡眠をとることで体調管理をしています。また、イメージトレーニングを大切にしたり、けが予防のためのストレッチを行ったりしています。



コンバインド 優勝
宮崎 敬太 (尾去沢中学校3年)



男子5kmクラシカル 2位
土濃塚悠成 (合川中学校3年)



女子スラローム 4位
渡辺 桃花 (花輪第一中学校3年)



女子リレー 3位 秋田選抜
3走・加藤 (右) からアンカー望月につなぐ
(写真提供: 秋田魁新報社)



強化拠点校紹介

秋田県立雄物川高等学校

男子 バレーボール部



学校紹介



玄関には宇佐美監督の北京五輪出場にちなんだ「夢・挑戦・執念」の看板が光る



体育館へ続く廊下には栄光の横断幕等が並び 事務室前には強化拠点校の指定証と春高バレー出場の記念ペナントが掲げられている

本校は昭和23年に秋田県立横手工業高等学校定時制課程の分校として町立の旧沼館農業学校寄宿舎を校舎として発足。昭和50年には校名を秋田県立雄物川高等学校と改称し、さらに昭和60年には校舎も改築され現在に至る。平成23年に創立60周年を迎え、現在まで学校の活気もさらに高まってきている。

特に、「PASSCAL TIME」と呼ばれる時間では、円滑な人間関係を学ぶとともに自己の「生き方・あり方」理解に基づいた職業観の育成を進める活動が全国的にも注目され、県外から視察に来ることも多い。また、全員部活動登録制を踏まえ、部活動の一層の振興を図り、忍耐力やチャレンジ精神に満ちた生徒や感性・情操の豊かな生徒の育成を図る。

チーム紹介

現在は1年生3名、2年生9名の計12名で活動している。これまでインターハイ・春高バレーともに20年連続出場を果たしている。全国大会での成績は、インターハイ3位入賞3回、国体入賞4回、春高バレー3位入賞3回という結果を取っている。その中から、元全日本主将で現監督の宇佐美大輔をはじめ、安井勇誠 (JT)、細川優樹 (大分三好) など数々の実業団選手も輩出している。「執念」をチームモットーに掲げ、「人のために、人に繋ぐために」粘り強いプレーを目指し、全国上位入賞を狙っている。そのためにも、数多くの遠征や大会を経験していく中で、日々の練習に還元し厳しく取り組んでいる。

スタッフ紹介

部長 齋藤 直之 監督 宇佐美大輔
コーチ 宇佐美義和 テクニカルアドバイザー 眞田 辰弥



練習開始!



県外選手を含む10名が校舎に隣接するバレー部寮で生活を送る

監督・テクニカルアドバイザー紹介



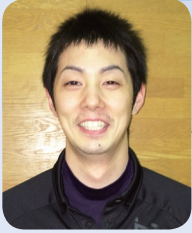
監督 宇佐美 大 輔

■競技歴：雄物川高校出身。高校在籍時は春高バレー、インターハイに出場してベスト8。大学は東海大学に進み主将として全日本インカレ3位に貢献。VプレミアリーグチームのNEC、パナソニックに所属し、2008年北京オリンピックに出場。2009年にはワールドチャンピオンズカップに主将として出場し銅メダルを獲得。

母校でもある雄物川高校に赴任したが、期待と不安が交錯していた。前年度に国体と春高バレーでベスト4に入っているメンバーが残るといった期待と、伝統校の指導者としてやっていけるかという不安である。しかし、前監督が築き上げてきた歴史と魂をしっかりと受け継ぎ、「執念」を唱え続け、技術はもとより「心」の修練を積んでいきたい。勝負所の強さというのはその部分に因るところがある。そのためにも日常生活でも気を緩めることなく過ごして欲しい。



全日本のセッターとして北京オリンピックに出場



テクニカルアドバイザー **眞田 辰 弥**

■指導歴：雄物川高校出身。平成19年の佐賀インターハイ3位、秋田国体で7位。仙台大学へ進み、主将を務め東北リーグ優勝を経験し、優秀選手賞を受賞している。

テクニカルアドバイザーとして、今年度は「日本一」を目標に活動し、日々の練習の中で技術指導やトレーニング指導を行ってきました。しかし、技術指導において、主体性が薄かったと反省しております。私自身がこれまで学んできた知識や気持ちなどをもっと選手たちに伝えることが出来ていれば、違う結果になったのではないかと感じました。今は、自ら率先して行動し、選手の気持ちやコンディションを確実に見極めてコーチングを行っています。



キャプテンコメント



キャプテン **鈴木 祐 貴**

昨年はエースという責任とプレッシャーに追いやられ、満足のいく結果を残せなかった。その反省も踏まえ、今年はエースの自覚と責任を力に換え、「執念」のバレーで全国上位入賞をまた達成出来るよう、チーム一丸となって戦う。そのためにも普段の練習から自分たち自身を厳しく追い込めるような雰囲気作りを率先して行いたい。

齋藤直之部長から見た雄物川高校バレー部強さの秘密



部長 **齋藤 直 之**

●マットトレーニング（コーディネーション能力の向上）

エバーマットで沈み込みからフライング姿勢のジャンプまでを速く連続しておこなう。「身のこなし方」や「運動能力を高める」ことを目的としたコーディネーショントレーニングである。これを身体に染みこませることで、試合中のどんな体勢からボールに喰らいつけるようにすることを目標にしている。



齋藤先生も絶賛の秘密トレーニング



ボールを使わないトレーニングにも時間をかける。倒立歩行もお手の物



リフティングもやります



打っているのはバスケットボールです!!



ウエイトトレーニングで下半身を徹底強化



平成26年度 秋田県中学生強化選手競技力向上研修



平成27年1月11日（日）から12日（月）の2日間にわたり、秋田県青少年交流センターにおいて今年度2回目の合宿研修が開催された。1・2年生の強化選手を対象とし、14競技から55名が参加した今回の合宿では、選手が大舞台で力を発揮するために重要な要素である「精神」に焦点を当て、「コミュニケーションプログラム」、「リフレッシュプログラム」、「インテリジェンスプログラム」などのほか、「アクティブプログラム」、「学習プログラム」の研修が行われた。

『オリンピックに学べ～オリンピックたちのスタートライン～』

本県出身で1976年のモントリオールオリンピックにおいて女子バレーボールで金メダルを獲得した荒木田裕子氏は、「東京オリンピックまであと5年しかなく、あっという間にやってくる。皆さんには一番チャンスがある。私もオリンピックに出たことはあるが、日本でのオリンピックの経験はない。こんなに素晴らしいことはないので、絶対に皆さんは目標にして、オリンピック出場を目指してがんばってもらいたい」とオリンピックに出場した自身の経験と日本へのオリンピック招致活動に4回関わった一員として、オリンピックの魅力やすばらしさ、目の前にはたくさんのチャンスがあることを強化選手に伝えてくれた。また、現在全日本女子バレーボールチームのゼネラルマネージャーを務めているが、「人間力無くして競技力の向上は無い」という基本的な考えのもと、「技術的にいくら上手くても、最後の一本一本の勝負というときには技術ではない。最後はいくら練習をしたか、いくら懐の深さがあるかなど、人間的なものが大きく影響する。世界一になるために必要なことは何でもやる、何でも経験してみよう」ということで選手を指導していると話した。





■研修の様子



コミュニケーションプログラム①
「自己紹介」



「チームビルディング」



コミュニケーションプログラム②
「夢」



コミュニケーションプログラム③
「英語でコミュニケーション」



リフレッシュプログラム
「メンタルリフレッシュ」



学習プログラム
「学習の進め方」



アクティブプログラム①
「ボディーバランス」



アクティブプログラム②
「アタマとカラダのW-UP」



インテリジェンスプログラム①
「結束の意義」



インテリジェンスプログラム②
「オリンピックに学べ～オリンピックたちのスタートライン」

■参加した選手からの感想

☆ソフトテニス 佐々木 快 斗 (南外中学校2年)

チームとして学校対抗で勝負するとき、一人でも欠けるとそれはチームではないということを改めてわかりました。チームに帰ったらこの合宿で得たものを教えて自然とチームワークができるようになります。そして、支えてくれている人がいるのはあたりまえと思わず感謝できる人になりたいと思いました。

☆新体操 金子 実 樹 (城南中学校2年)

競技力を向上するためには、自分に満足しないことが一番大切だと思いました。そして、日ごろから自分一人で生活していることではないことを自覚し、感謝の気持ちを持ちたいです。

☆柔道 打 矢 明日香 (大潟中学校1年)

今回の研修では、オリンピック選手の方の話を直に聞くことができました。そのおかげで、どんなにつらいことがあってもその競技が好きなら乗り越えられるということがわかりました。

■ジュニア育成アドバイザー所見

☆ジュニア育成アドバイザー 松本 宗也

強化選手たちの「夢」を実現できるよう、今回は講師としてもこの事業を担当しました。第一に強化選手のイメージは「良い子」としか感じませんでした。緊張感はあったかもしれないですが、挨拶は大きな声で言えない。他競技の選手と交流し刺激し合える機会は減多にないにも関わらず、同じ競技のいつもの友達としか会話をしない。自分の目標を聞いても「ーです。」と言える選手、自分の口で大きな声で目標が言えるような選手は、数人しかいませんでした。

東北・全国を勝ち抜くためには、「自分」を出せるようコントロールし、常に好奇心を持ち、目を輝かせてください。これからたくさんさんのステージを経験します。人間としても選手としても全国で戦える選手を育成するプログラムを用意していきます。一緒にがんばっていきましょう。

☆ジュニア育成アドバイザー 原文 俊

私にも中学時代があったが、強化選手研修などの研修はなかった。勝つために必要なトレーニングや精神的な事など研修を通して教えてもらえることは、選手にとって今後の目標につながるいい機会であったでしょう。それぞれの選手が目標とすることに対し、この研修を通して、何が自分には必要か、足りないかが少しでも分かったと思う。わかったことを、気持ちを入れ替えて、自分がやるかやらないかで、目標に近づくスピードは早くもなるし遅くもなるので、努力して頑張ってもらいたい。努力が光るときはきっと来ます。私も選手が身体や精神的にも成長できるようにいい研修会ができるよう努力します。

そして、やるからには1番を目指す。



秋田工業高校陸上競技部



秋工創立110周年の今年度、ついに全国高校駅伝大会で**4位!!**

秋田工業高校チーム【2:05:06 (秋田県高校新記録)】

区間	名前	学年	全体(順位・記録)	区間(順位・記録)
1区(10km)	湊谷 春紀 ミナタ ハルキ	3	4 29:47	4 29:47
2区(3km)	續木 悠也 ツヅキ ユウヤ	3	4 38:08	7 8:21
3区(8.1075km)	松尾淳之介 マツオ ジュンノスケ	2	4 1:02:10	7 24:02
4区(8.0875km)	齋藤 椋 サイトウ リョウ	1	2 1:26:10	6 24:00
5区(3km)	安藤 駿 アンドウ シュン	2	4 1:35:05	18 8:55
6区(5km)	石井 僚 イシイ リョウ	3	4 1:50:11	13 15:06
7区(5km)	菅原 勇聖 サガハラ ユウセイ	3	4 2:05:06	8 14:55

京都市西京極総合運動公園陸上競技場



新主将：松尾淳之介(マツオ ジュンノスケ)選手へのインタビュー

- Q. 全国高校駅伝へ向けた練習で監督が力を入れていた点は？
 A. 駅伝を意識すること、誰にも負けないだけの努力をすることだと思います。
 なので、誰にも負けないという気持ちで、練習後には自分で考えてプラス練習も行ってきました。
- Q. 雪がハンディキャップと言われる秋田で、全国で活躍できた要因は？
 A. 環境に負けずに、逆に「この環境の中で行うことで強くなる」というプラス的な考えや気持ちで練習に取り組むことができたからだと思います。
- Q. 全国で活躍する苦楽の両方を実感した今、秋田のみんなへ伝えたいことは？
 A. 活躍するためや結果を出すためには、やはりそれに見合った取り組みが大切になります。目標が高い程、取り組みは厳しくなりますが、それを乗り越えて、達成した時の喜びはとて大きく、スポーツが楽しくなってくると思います。
- Q. スバリ、次に見据える目標は？
 A. 個人・駅伝両方での秋田県記録更新と全国高校駅伝入賞です。

「3年間選手たちを家族よりもそばで支える寮母さんに聞いてみました」

- Q. 寮での選手たちは？
 A. 「朝練、帰ってご飯、学校、部活、帰ってご飯、寝るの繰り返しで、ほとんど寮にはいないんです(笑)」
- Q. 監督からの寮母さんへの要望は？
 A. 監督からは全く要望はありません。
- Q. 日頃と試合前の選手たちの様子は？
 A. 日頃は本当に優しい子たち。でも試合前はすごくピリピリしていますよ。反対に口数が多くなる子も(笑)。
- Q. 陸上部の選手たちはどんな子たちですか？
 A. 礼儀正しい！でも反対に、年々厳しさに弱くなっているように見える面も。寮生活の中でいろんな人への対応力を身に付けて、外に出てからも頑張れる人になってほしい。

大友 貴弘(オモト タカヒロ)監督へのインタビュー

- Q. 全国駅伝の際、最後の調整どうでしたか？
 A. 爆弾低気圧(風速 20m/h)の影響などもあり全くダメだった。思うような練習もできず、タイム的にも選手たちは失意の中の京都入りとなった。しかしリーダー選手たちの調整能力の高さや前向きなメンタルと言葉がけで、現地入りしてからの調整練習では徐々に動きが戻り、納得のコンディションに仕上がった。
- Q. 昨年の全国駅伝での躍進を経て、新チームとして今の状況は？
 A. 周りから求められるものは去年以上のモノ。成績を出すためには「安定感」が大きなカギ。総的にはまだまだ不足。個々の能力もさらにレベル上げが必要。全国で戦うにはどれくらいの熱意と努力とチカラが必要かを選手たちも去年で分かった。後はそれに本気で立ち向かえるかというところに今選手たちはいる。
- Q. 目指す拠点校の姿は？
 A. 求められるのは結果しかない。県内であれば他を圧倒する実力でもって、目標とされるチームではなく「さすが拠点校だな」と思われるチームであること。
- Q. 秋工陸上部のストロングポイントは？
 A. 学校のバックアップ体制を得られること、これが一番の強み。やはり頭くのは勉強。強くなればなるほど公欠も多くなる。しかし、秋工では「学び直し」というシステムがあり、補充・補講を普通教科の先生たちが積極的にどんどん協力して行ってくれる。そのおかげで選手たちが安心して伸び伸び大好きな陸上ができる。
- Q. 次年度へのビジョンを教えてください。
 A. やらせる部活の時代は終わった。いかに目的・目標を持って実現のために努力できるかという状況の手助けができればいいと思っている。そうならない限りは絶対に選手たちは走らない。あとは核になる選手の育成ができるかどうか。
- Q. 選手の成長にとって大切なものは？
 A. 素直さ。たとえ躓いたときでも、周りのサポートの有り難さに素直に感謝でき、今度は自分がどうしていかなければいけないかを考えられること。
- Q. スバリ、来年度も頑張ってもらえますか？
 A. もちろんです！でも、頑張るのは選手ですけどね。

今年2月21日に行われた第29回福岡国際クロスカントリー大会において、ジュニア男子(8km)約400人が出場する中、秋工選手も5名がエントリーし、個人で松尾が1位と同タイムの2位、湊谷がトップから2秒差で5位、齋藤が20位に食い込むなどの好成績を刻み、上位3名の総合タイムで競う団体戦を見事優勝で飾った。ちなみに齋藤も同学年では2位という好記録。さらに、湊谷と松尾においては、3月28日(土)中国貴陽市で開催される第41回世界クロスカントリー選手権大会ジュニア男子8kmの日本代表選手6名に選出。“個人の成長無くして結果無し”の大友流で築く「秋工陸上部」の快進撃は今後もまだまだ続く。今年度卒業の10名は、進学8名、就職2名。現役・OBそれぞれがまた、新たな夢を追って駆け抜ける。



平成26年度 スポーツ秋田この一年

- 5月：第69回国民体育大会決意集会を開催。
- 6月：スポーツ立県あきた応援事業「世界へ羽ばたけ！秋田のスポーツ講演会」を開催。
「スポーツ立県あきた」応援第3回チャリティーゴルフコンペを開催。
第1回県競技力向上連絡協議会を開催。
第2回県競技力向上連絡協議会を開催。
第6期県中学生強化選手指定証交付式を挙げる。
- 8月：南関東インターハイ（東京、千葉、神奈川、山梨）に27競技、461名の選手が参加。
第18回日韓青少年夏季スポーツ交流事業（日本体育協会主催）受入を本県で開催し、本県選手、指導者等213名が参加。同時に大韓民国（全羅北道・全州市）で開催された派遣に、本県選手、指導者等97名が参加。
- 9月：第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）結団式を開催。
第1回県中学生強化選手競技力向上研修を開催。
- 10月：第69回国民体育大会（長崎がんばらんば国体）において天皇杯42位、皇后杯40位。
バスケットボール成年女子（秋田銀行）、カヌー・スラローム成年男子カヤックシングル15ゲートで佐々木優選手、レスリング少年男子グレコローマン74kg級で櫻庭功大選手が優勝。
中村和雄氏（秋田ノーザンハピネッツ前ヘッドコーチ）が県体協ゼネラルアドバイザーに就任。
フェンシングジュニアワールドカップ・グアテマラ大会女子フルーレ個人で柳岡はるか選手が個人・団体で優勝。
第56回日本選手権（25m）水泳競技大会女子50m平泳ぎで小林明日香選手が優勝。
レスリング全日本大学選手権フリースタイル70kg級で多胡島伸佳選手、74kg級で保坂健選手が優勝。
- 11月：第69回国民体育大会懇談会を開催。
第7期県中学生強化選手指定証交付式を挙げる。
- 12月：全日本レスリング選手権女子55kg級で菅原ひかり選手が優勝。
男子第65回・女子第26回全国高等学校駅伝競走大会で男子秋田工高が4位、女子花輪高が12位と健闘。
スケルトン全日本選手権で笹原友希選手が優勝。
- 1月：第2回県中学生強化選手競技力向上研修を開催。
- 2月：第52回全国中学校スキー大会ノルディックコンバインドで宮崎敬太選手が優勝。
第64回全国高等学校スキー大会を本県で開催。
第26回全国高校選抜スキー大会（ノルディック種目）女子5kmフリーで成田沙弥佳選手、女子1.2kmスプリントクラシカルで藤田菜々瀬選手が優勝。
第70回国民体育大会冬季大会スキー競技会（2015ぐんま冬国体）において天皇杯4位、皇后杯2位。
女子リレー（藤田菜々瀬選手、木村希選手、田中きらり選手、石垣寿美子選手）、スペシャルジャンプ成年男子Bで高橋大斗選手、コンバインド成年男子Bで湊祐介選手、ジャイアントスラローム成年男子Cで生田康宏選手が優勝。
第88回全日本学生スキー選手権大会スペシャルジャンプ競技で馬淵源選手が優勝。
県スポーツ賞表彰式を挙げる。
2015FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会を本県で初開催。
- 3月：2015アジアジュニア・カデフェンシング選手権女子フルーレジュニア個人・団体で柳岡はるか選手が優勝。男子フルーレカデ団体で菅原康平選手が優勝。女子エベカデ団体で佐藤涼華選手、成田琉夏選手が優勝。
人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞表彰式を挙げる。
県競技力向上研修を開催。
第87回選抜高等学校野球大会（甲子園）に大曲工高が初出場。



平成26年度 (公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ 御協力ありがとうございます ～

県体育協会の賛助会員として、事業推進に御協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【法人会員】

秋田いすゞ自動車株式会社
 秋田運送株式会社
 株式会社秋田温泉さとみ
 秋田空港ターミナルビル株式会社
 株式会社秋田ケーブルテレビ
 一般社団法人秋田県建設業協会
 一般社団法人秋田県サッカー協会
 一般社団法人秋田県歯科医師会
 秋田県柔道連盟
 一般社団法人秋田県障害者スポーツ協会
 秋田県少林寺拳法連盟
 秋田県信用保証協会
 秋田県ソフトボール協会
 一般社団法人秋田県ハイヤー協会
 公益社団法人秋田県バス協会
 秋田県バドミントン協会
 秋田県武術太極拳連盟
 秋田県木材産業協同組合連合会
 一般社団法人秋田県薬剤師会
 秋田魁会
 秋田指月株式会社
 秋田白玉工業株式会社
 秋田信用金庫
 秋田ステーションビル株式会社
 秋田ゼロックス株式会社
 秋田ホーチキ株式会社
 株式会社アテック
 石垣鐵工株式会社
 伊藤建設工業株式会社
 羽後電設工業株式会社

A K T秋田テレビ
 株式会社エフエム秋田
 大塚製薬株式会社秋田出張所
 奥羽電気設備株式会社
 奥山ボーリング株式会社
 医療法人回生会秋田回生会病院
 株式会社鹿角パークホテル
 清三屋商事株式会社
 医療法人久幸会
 株式会社黒澤塗装工業
 医療法人慧眞会
 医療法人弘仁会島田病院
 株式会社光輪技研
 コクヨ東北販売株式会社秋田支店
 コマツ秋田株式会社
 有限会社佐々木製作所
 有限会社佐藤養助商店
 株式会社サノ・ファーマシー
 猿田興業株式会社
 医療法人慈心会寺田内科医院
 白神森林組合
 有限会社すぐる不動産
 社会医療法人青嵐会
 全国農業協同組合連合会秋田県本部
 創和技術株式会社
 株式会社大同観光
 大堂電機自動車工業株式会社
 ダイドードリンコ株式会社東北第一営業部
 盛岡オフィス秋田駐在
 太平山観光開発株式会社

株式会社竹半
 タプロス株式会社
 千代田興業株式会社
 辻不動産株式会社
 東亜道路工業株式会社秋田営業所
 東北環境管理株式会社
 株式会社東北ビルカンリシステムズ
 東北森永乳業株式会社秋田工場
 中田建設株式会社
 株式会社NIPPO秋田統括事業所
 ニプロ株式会社大館工場
 日本精機株式会社
 日本電機興業株式会社
 ネットトヨタ秋田株式会社
 株式会社八郎潟印刷
 船川臨港運送株式会社
 文化シャッター秋田販売株式会社
 堀江建材株式会社
 株式会社本間
 株式会社丸臣高久建設
 みちのくキャンティーン株式会社秋田営業所
 名鉄観光サービス株式会社秋田支店
 社会医療法人明和会
 株式会社ユアテック秋田支社
 株式会社友愛ビルサービス
 有限会社雄駿
 由利工業株式会社
 臨海砕石株式会社
 株式会社ルーラル大潟
 わかみハート薬局

【個人】

秋元 昌貴	尾形 隆	齋藤 栄一	滑川 利生	細谷孝二郎	渡部 聡
安藤 進	金子 良雄	佐藤卯兵衛	奈良 正人	宮田 正植	渡邊 剛
池田 正	熊谷金次郎	佐藤 有一	西村 悦子	茂木 秀悦	渡辺 正典
伊勢 準造	児玉 要	中村 六郎	半田 祐毅	米塚善之助	

※あいうえお順 ※3月13日受付まで



私たちは「スポーツ立県あきた」を応援しています

【法人・団体】

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------------|
| 株式会社アールシー・テック | 株式会社男鹿興業社 | 東立有限会社 |
| 株式会社アイセス | 有限会社カナック | DOWAホールディングス株式会社 |
| 株式会社アイネックス | 株式会社寒風 | 株式会社トヨタレンタリース秋田 |
| 秋田いすゞ自動車株式会社 | 株式会社北日本ベストサポート | 中田建設株式会社 |
| 秋田活版印刷株式会社 | キャタピラー東北株式会社秋田営業所 | 株式会社仲村保険サービス |
| 秋田共立株式会社 | 医療法人久幸会 | 西村土建株式会社 |
| 株式会社秋田銀行 | 株式会社グレイスランド | 株式会社NIPPO秋田統括事業所 |
| 株式会社秋田グランドリース | 医療法人敬徳会藤原記念病院 | 日本空手協会秋田県本部 |
| 株式会社秋田ケーブルテレビ | 厚生ビル管理株式会社 | 長谷川体育施設株式会社秋田営業所 |
| 秋田県建設機械レンタル協会 | 医療法人光智会 | 株式会社八郎潟印刷 |
| 秋田県剣道連盟 | 株式会社光風舎 | 有限会社PATEK |
| 秋田県厚生農業協同組合連合会 | 有限会社小西タイヤ | 花岡土建株式会社 |
| 秋田県信用組合 | コマツ秋田株式会社 | ハラダ製茶株式会社 |
| 秋田県石油商業協同組合 | 株式会社サキガケ・アド・ブレーション | 東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所 |
| 秋田県農業協同組合中央会 | 株式会社さきがけ折込センター | 株式会社備品レンタルセンター |
| 株式会社秋田国際カード | 株式会社さきがけプラスA | 有限会社深沢電装 |
| 株式会社秋田魁新報印刷 | 有限会社佐藤養助商店 | 株式会社福井 |
| 株式会社秋田魁新報社 | 株式会社サノ・ホールディングス | 有限会社ふじエンタープライズ |
| 株式会社秋田ジェーシーピーカード | 株式会社沢木組 | 株式会社藤通商 |
| 秋田車体株式会社 | 有限会社三協商事 | 株式会社フローリスト春花 |
| 秋田新聞輸送有限会社 | 株式会社サンコーホーム | 有限会社ぶんねん自動車 |
| 秋田信用金庫 | 三和興業株式会社 | ベストトラベル大曲営業所 |
| 秋田ゼロックス株式会社 | 株式会社ジェイエエ秋田葬祭センター | 有限会社ベストモータース |
| 株式会社秋田中央機工 | 株式会社清水組 | 北秋容器株式会社 |
| 株式会社秋田椿台ゴルフクラブ | 医療法人社団柔心会 | 株式会社北都銀行 |
| 秋田電話工業株式会社 | 有限会社俊光建機 | 堀江建材株式会社 |
| 秋田プロバスケットボールクラブ株式会社 | 株式会社荘内銀行秋田支店 | ホワイト歯科医院 |
| 秋田ビル株式会社秋田キャッスルホテル | 昭和電気工業株式会社 | 株式会社松原印刷社 |
| 秋田瀝青建設株式会社 | 新あきた農業協同組合 | マルト建設株式会社 |
| 株式会社アクアス | 株式会社スーパートゥディ | 有限会社丸ノ内サービス |
| アシックス販売株式会社東北支社 | 株式会社菅与 | みちのくキャンティーン株式会社秋田営業所 |
| 有限会社アテザン | 株式会社菅与組 | みちのくコカ・コーラボトリング株式会社秋田営業部 |
| 株式会社安藤醸造 | 住友生命鷹巣支部 | 三ツ星館 |
| 有限会社碓谷建設 | 医療法人正和会南秋田整形外科医院 | 三本コーヒー株式会社秋田支店 |
| 羽後日産モーター株式会社秋田店 | 有限会社石心 | むつみ建設株式会社 |
| AKT秋田テレビ | 株式会社セコー | むつみ造園土木株式会社 |
| ABS秋田放送 | 瀬下ワールドファミリー会 | 有限会社村田弘建築設計事務所 |
| NK東日本株式会社 | 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部 | 名鉄観光サービス株式会社秋田支店 |
| NPO秋田RG愛好会 | 太平興業株式会社秋田支店 | 有限会社桃山 |
| NPO法人能代市体育協会 | 株式会社大雄建設 | 有限会社もやちゃん食品 |
| 株式会社エフエム秋田 | タブロス株式会社 | 山下商事株式会社 |
| 有限会社エンドウ | 株式会社テーエムシー | 医療法人祐愛会加藤病院 |
| 有限会社奥州食品 | 東京美装興業株式会社鹿角事業所 | ユーアイ警備保障株式会社 |
| 大塚製薬株式会社秋田出張所 | 株式会社トーセン秋田営業所 | ユナイテッド計画株式会社 |
| 大曲仙北剣道連盟 | 東北通商株式会社 | 菱明三菱電機機器販売株式会社 |
| 大曲仙北地区自家用自動車協会 | 株式会社東北ビルカンリ・システムズ | 鹿前運輸株式会社 |

【個人】

- | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 有馬 昇 | 石井 政巳 | 小笠原直樹 | 加藤 義光 | 小林 忠雄 | 佐藤 正雄 | 荘司 典昭 |
| 殿村 靉太郎 | 奈良 正人 | 蒔苗 昭三郎 | 湊 昭策 | | | |

※あいうえお順 ※3月13日受付まで



県体協事務局だより

会議録(抄)

11月20日 第4回強化委員会

- ・平成27年度の競技力向上の取り組みについて
- ・秋田県強化拠点校制度について

12月2日 第1回普及委員会

- ・チャレンジデー2014の結果について
- ・総合型地域スポーツクラブの育成状況について
- ・第18回日韓青少年夏季スポーツ交流事業について
- ・日本スポーツマスターズ2016秋田大会について
- ・日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流について

12月18日 第4回臨時理事会

- ・第69回国民体育大会の結果について
- ・「秋田県高等学校強化拠点校の指定等に関する要項」の主な改正内容と強化拠点校候補校の選定結果について
- ・秋田県公益法人認定委員会の公益目的事業の変更認定について
- ・寄附金の申込状況について
- ・平成26年度公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰事業受賞者について
- ・第70回国民体育大会冬季大会秋田県選手団本部役員(案)について
- ・顧問の推挙(案)について
- ・次期役員(理事・監事)の選任方法等(案)について

1月5日 第2回事業委員会(書面)

- ・特別寄附金にかかる事業団体の審査について

1月13日 第2回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第1次審査について

1月21日 秋田県スポーツ賞選考委員会

1月21日 第5回臨時理事会

- ・秋田県スポーツ賞の受賞者(案)について

2月24日 第3回審査委員会

- ・秋田県スポーツ賞第2次審査について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞の審査について

2月24日 第5回総務委員会

- ・平成26年度スポーツ振興事業助成金実態調査の調査結果に基づく改善方策の提出について
- ・定款の一部改正(案)について

2月26日 第5回強化委員会

- ・平成27年度テクニカルアドバイザーの選考について
- ・平成27年度社会人スポーツ強化チームの指定について

2月26日 秋田県スポーツ賞第2次選考委員会

人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞選考委員会

2月26日 第6回臨時理事会

- ・秋田県スポーツ賞の受賞者(案)について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞の受賞者(案)について

2月26日 次期役員候補者選定委員会

- ・理事候補者(理事会推薦)の選定について

3月5日 第6回総務委員会

- ・第3回定例理事会の議案について

3月5日 第3回定例理事会

- ・業務執行理事の業務報告について
- ・第70回国民体育大会冬季大会の結果について
- ・寄附金の申込み状況について
- ・特別寄附金の執行状況について
- ・加盟団体の是正勧告に対する取組状況について
- ・平成26年度スポーツ振興事業助成金実態調査の調査結果について
- ・平成27年度事業計画(案)について
- ・平成27年度収支予算(案)について
- ・定款の一部改正(案)について
- ・理事候補者の推薦(案)について
- ・専門委員会規程の一部改正(案)について
- ・臨時評議員会の招集(案)について

3月13日 臨時評議員会

- ・平成27年度事業計画(案)
- ・平成27年度当初予算(案)について

3月18日 スポーツ医・科学委員会

- ・第69回国民体育大会本大会成績
- ・第70回国民体育大会冬季大会成績
- ・平成26年度スポーツ医・科学委員会活動
- ・平成27年度スポーツ医・科学委員会運営計画について



高校生スポーツ冬の陣の一つである全国高等学校駅伝競走大会では、都大路で粘り強い走りを見せた男子の秋田工業が悲願の4位入賞を果たした。女子の花輪高校もまた12位と自校の記録を大幅に更新し、秋田の底力を全国に発信してくれました。その勢いを嚆渡しされた第70回国民体育大会冬季大会では、昨年天皇杯順位・得点を上回り、和歌山県で開催される本国体に向けて大きな弾みをつけてくれました。また、大曲工業高校が初の選抜高等学校野球大会への出場切符を手にし、多くの県民の興味・関心をスポーツの世界に引き込んでくれました。

時代は変われども、同じ目標に向かって先輩方が汗を流して築き上げてきた伝統と、スポーツを愛する県民の声援に後押しされながら、全国や世界の舞台上で活躍したいと強く願い、直向きにスポーツに打ち込んでいる本県の選手をこれからも心から応援し続けていきたいと思っております。

最後に、お忙しい中、取材の協力や原稿執筆をいただきました皆様、写真を提供していただきました秋田魁新報社様、御協力ありがとうございました。

編集者 新林 美保 笠井 猛 伊藤 栄悦
安田 竜 進藤 恭孝

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.®

三本コーヒー株式会社

秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市巾道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

松田グループ

株式会社 松 田 株式会社 湯沢生コン
株式会社 丸栄建設 株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産

本 社/湯沢市鶴館 39-4 ☎ 0183-73-0188
URL <http://matsuda-group.jp>

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人 秋田税経プランニング

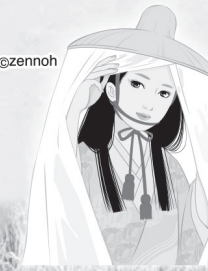
税理士 木 村 了
税理士 進 藤 俊 作

本 店/秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022
山王事務所/秋田市山王七丁目5番32号 Tel.018-863-7868

美人を育む秋田米

“あきたこまち”はデビュー 30周年

@zennoh



30th

あきたこまち

since 1984

あきたこまち

JA全農あきた

〒010-8558 秋田市八橋二丁目 10-16
TEL018-864-2401



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 ... に

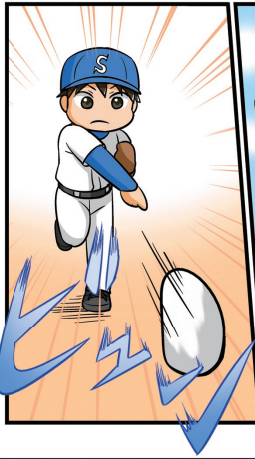
ア リ ナ ス 宿 泊 ラ 室
ト レ ー ニ ン グ ル ー ム 温 水 プ ー ル 研 修 ル ー ム
ミ ー テ ィ ン グ ル ー ム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



まかせて安心



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成27年3月から)

加入区分・掛金・補償額

団体活動を行う5名以上の方でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (軽・重)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人1億500万円 対人・対物賠償 合算1事故500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円		
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となります。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 ※自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		



携帯電話から資料請求ができます。

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行って
おります。詳しくは、ホーム
ページをご覧ください。

※同一団体が1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360

((公財)秋田県体育協会内)
電話受付時間：午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日 9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成27年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上

平成26年12月作成 14-T-09668